科目名	7	ホテノ	レマ	'ネ	ジメント	В								
科目名(英)	Н	lotel Ma	nage	ment	В									
単位数		2単1	立		時間数	女	32時間		担当者		小形 3	李平		
実施年度		2022年	丰度		実施時	期	後期		担当者実務	経験 :	ホテル料飲部	で8年勤務		
対象学科·学年	7	トテル・リ	ゾー	卜科	2年									
授業概要					务検定べー: するより詳し				合格を目指す	ナ。検定の学習	習を通して、ヨ	見場での実践に		
授業形式	講	義:	0	演	習:	実習	:	実	<u></u> 技:	※ 主た	-る方法: O	その他:△		
	言語情報	知的 運動技能 技能		その他				l.	目標	Ę				
	0				宴会部門の	)業務を	理解し説明	でき	·る					
学習目標	0				ブライダル	に関する	特別な知言	哉を生	覚える					
(到達目標)	0				調理部門の	)組織・ӭ	業務分担を	理解	し説明できる	/調理機器や	調理用語を覚	覚える		
	0				調理の基礎	楚知識(こ	フランス料理	里の歴	歴史、特徴、メ	メニュー)を覚え	え説明できる			
		0			ホテルビジ	ネス実剤	条検定合格							
テキスト・教材 参考図書	7	ホテルビジネス実務検定合格  ホテルビジネス、問題集、プリント												
	回数				授業	∮項目•₫	内容				授業外学修	指示		
	1	授業概要	要説明	明、評	価方法/宴会	会部門導	入(業務、組	1織)	、宴会の種類	授業内容の復習	アをしておくこと			
	2	宴会部	門の	実務	(宴会の形	式)				授業内容の復習	をしておくこと			
	3	ブライタ	ブル第	美務/	宴会備品、	テーブル	プラン			授業内容の復習	きしておくこと			
	4	調理部	門導	入、氢	 業務内容(音	 『署、役罪	職と業務分	担)		授業内容の復習	をしておくこと			
	5	調理部	門の	実務	(調理機器、	調理方	法)①			授業内容の復習	でしておくこと			
					(調理機器、					授業内容の復習	をしておくこと			
		スープと								授業内容の復習	をしておくこと			
授業計画		スープと								授業内容の復習	をしておくこと			
					 (フランス料	理の歴	中 特徴 18	h 方 ź	<u></u> 料理)①	授業内容の復習	をしておくこと			
					<u>、フランスキャ</u> (フランス料					授業内容の復習	をしておくこと			
		メニュー				2±07/IE2	又、竹以、竹	5/14	M = 1 C	授業内容の復習	をしておくこと			
		メニュー								授業内容の復習	『をしておくこと			
				≥1疋ス						授業内容の復習	きしておくこと			
		過去問								授業内容の復習	きしておくこと			
		過去問								授業内容の復習				
		過去問			.,					授業内容の復習				
	16	過去問	題(4)	、まと	<u>-</u> め						120 (13)(22			
	以上	Lを下記	の観	点:	(2)過去問題 別合で評価で 90点以上)	する。				点以上)・D(59	点以下)とす	·る。		
					Ī	言語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
評価方法			トテス		1	0						20%		
		過去問題			ースト	0	0			0		30%		
		<b>村</b>	定統	果		0	0					50%		
履修上の注意	ㅂ	出席が11	回に	満た	ない場合は	、単位を	付与しない	١,						

科目名	1	観爿	匕根	旡訴	Ħ									
科目名(英)	Ir	ntrod	uctic	on to	ο Τοι	urism								
単位数		1	単位	Ī.		時間	間数		15時間	担当者		八尋	<u></u> を志	
実施年度		202	22年	度		実施	時期		後期	担当者実務	経験 旅行:	会社にて外国ノ	人旅行部で勤務	
対象学科·学年	7	トテル	レ・リン	ゾー	卜科	2年								
授業概要	て変	て、な 変わっ	ぜ外ってい	・国ノ	人旅 <i>î</i> )か、	行者を政 どのよう	府は誘致な国々の	する 方か	のか外国人 ド日本を訪問	旅行者が日本	本に来る事に。 を求めて来る	よって日本経	ソーリズムについ 済はどのように 広く講義する。ま	
授業形式	講	義:	С	)	演	習:	実習	3:	実	技:	※ 主た	-る方法:O	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標	E C			
	0					訪日外国	引人が来日	ける	5ことによって	日本経済はと	う変わるかして	っかりした定義	にて説明できる。	
学習目標		0				訪日外国人	人が日本に何	を求る	めて観光に来て 	るのか、実際のツ	アーを検証して日	本のプラス・マイ <sup>・</sup>	ナス面を説明できる。	
(到達目標)														
			$\vdash$		$\mid - \mid$									
テキスト・教材 参考図書														
	回数	,				持	受業項目・	内容	<u>}</u>			授業外学修		
	1	イン	バウ	ンド	とは	(国内旅	行·海外旅	で行く	の相違点)		新聞や外国人向	け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
	2	外国	]人か	いらり	見た「	日本の魅	カ(プラス	·-マ	イナス面)		新聞や外国人向	可け日本のパンフ	ルットを見ておくこと	
	3	実際	その討	<b>方日</b> 名	外国	人の行動	 力		-		新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
授業計画	4	訪日	外国	国人(	の日	 本への <i>入</i>	/国査証()	VISA	4)		新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
	5	訪日	外国	国人(	の国	 別の習慣	貫や食事に	こつし	ハて		新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
	6	訪日	]外国	国人(	のホ <sup>.</sup>	 テル利用		 及び	確認テスト		新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
	7	業界	の車	 与門/	用語	の習得					新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
						及び確認	 烈テスト				新聞や外国人向	可け日本のパンプ	ルットを見ておくこと	
	(1)抗 以上	レージョングラッド	为での 下記の	の確 D観』	  認テ  点・	·スト (2)¦ 訓合で評(	出席状況を 価する。		欲点として言 上)・B(70点		点以上)・D(59	9点以下)とす	<b>ప</b> .	
							言語情報	報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合	
評価方法				忍テ			0		0				70%	
			意	欲,	点						0		30%	
	_							_	1	<del> </del>				
									ı	<del> </del>				
	_							$\dashv$		+				
履修上の注意	ㅂ	出席か	ゞ6回	](こ清	あたた	い場合に	は、単位を	<u>-</u> 付-	与しない。					

科目名	ŀ	HRS	対第	₹B										
科目名(英)	N	lation	al Trad	e Ski	ll Test for th	e Restau	rant Service	e B						
単位数		2 <u>i</u>	単位		時間数		32時間	担当者		小形 3	享平			
実施年度		202	2年度		実施時期	玥	後期	担当者実務	経験 7	ホテル料飲部	で8年勤務			
対象学科・学年	7	トテル	・リゾー		2年									
授業概要					「レストランサ らけるサービス			(実技試験)」の	の合格を目指し	人課題に特	化した接客の基			
授業形式	講	義:		演	習: 0	実習:	5	  {技:	※ 主た	:る方法: O	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他				目標	Ē					
	0				朝食・昼食	寺のサービ	ごスの流れる	を覚える						
学習目標		0			オーダーティ	′クや食事	提供時の説	明、問いかけ $\sigma$	)言葉を状況に	応じて使い分	けることができる			
(到達目標)			0		技能試験実	技に必要	なサービス	技術を習得し、	合格する					
		日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接遇サービス技法												
テキスト・教材 参考図書	E	本本日本ホ	テル・し	ノスト	ランサービス	技能協会	会 西洋料理	! 料飲接遇サ	ービス技法					
	回数				授業	項目·内	容			授業外学修	指示			
	1	技能	検定の	概要	説明、実技詞	試験の流4	れ説明		料飲実習服を着	用のこと				
	2	基礎	練習&	バッ	シング&リセ	ットでタイ	ムを意識す	る	料飲実習服を着	用のこと				
	3	スマ-	ートなト	-レー	サービス&正	しい料理	■の提供		料飲実習服を着	用のこと				
	4	水の	サービ	ス~!	 Jセットまで(	除く オー	 -ダーテイク	01	料飲実習服を着	用のこと				
	5	水の	サービ	ス~「		 除く オー	-ダーテイク	)(2)	料飲実習服を着	用のこと				
	6	水の	サービ	ス~!		オーダー・	テイク含む)	<u> </u>	料飲実習服を着	用のこと				
	7	_			ノセットまで(;				料飲実習服を着	用のこと				
授業計画	8	_			まで(すべて				料飲実習服を着	用のこと				
	9				まで(すべて				料飲実習服を着	用のこと				
	<u> </u>			-	間11分以内		( ) (0)	<b>7</b> 7 <b>S</b>	実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
	11				;間10分以内				実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
					間9分以内)				実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
					間8分以内)				実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
							- 落し 七四	 fの対処方法)	実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
									実習服着用(靴=	も受験時に履く	靴を持参すること)			
					i そう!②(間 		サの対処力 2	<b>5</b> )	受験時の身だし	なみで受講(爪	も切っておくこと)			
	16	週し	傑省(E	1 標時	f間7分半以[	<u>시</u> )			2000					
	以上	-を下	記の観	点、	割合で評価す	る		要時間 (3) 杉 上)、C(60点以		以下)とする				
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法			中間テ					0			50%			
			通し終					0	0		30%			
			検定約	吉果				0			20%			
履修上の注意	님	出席が	11回に	二満た	ない場合は、	単位を作	寸与しない。							

科目名	7	ナテ	ルマ	<b>,</b> +.	 一演習(t	<b>フ</b> トノフ	スアップ	゚゚゚+プロト	ارال — الـــــــــــــــــــــــــــــــــ						
科目名(英)			tiquett	-			• • • • • •								
単位数			etiquett 単位	e exe	ercises 時間数		30時間	担当者	4	一岡 :					
実施年度			2年度	1 7.1	実施時期		後期 ————	担当者実務	在駅	外資系ホテル 	/I3年勤務 ————————————————————————————————————				
対象学科・学年	7	トテル	・リゾー	·卜科2	2年 —————										
授業概要					て必要な「国際 ルマン(ビジネ										
授業形式	講	義:	Δ	演 <sup>:</sup>	習: 0	実習:	:	実技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的技能	運動 態度 技能 意欲	その他				目	票						
		0			プロトコールの				<u>+</u>	コテキフ					
学習目標 (到達目標)	0	0	0					一流の接客の							
(2,72,2,1)		○       ビジネスマナーでは、きれいな姿勢で名刺交換が行うことができる。。         ○       各種ビジネスマナーの重要なポイントを説明・実践できる。													
テキスト・教材 参考図書		朝日出版社:接客の一流、二流、三流 新星出版社:これだけは知っておきたい!ビジネスマナーBOOK													
	回数				授業項	目・内容	容			授業外学修	指示				
	1	シラノ	ヾスの訁	兑明•	プロトコールの	基礎									
	2	接遇	:一流0	で【考	え方】について				事前プリントを	確認し予測を立て	てる				
	3	接遇	:一流の	の【外	見力】について				事前プリントを	確認し予測を立て	てる				
	4	接遇	:一流の	o【察	知力】について				事前プリントを	確認し予測を立て	てる				
	5	接遇	: 一流の	に会	話力】について				事前プリントを	確認し予測を立て	てる				
	6	接遇	:一流の	D【対	応力】について				事前プリントを	確認し予測を立て	<b>てる</b>				
	7	接遇	: 一流に	こなる	為に自ら行動を	を変え	るためのレ	ポート作成							
授業計画	8	マナー	ー:身だ	しな	み・職場・時間	管理(問	寺間マトリッ	 クス説明)	Forms課題の	是出					
	9	マナ-	一: 職場	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レベーターや耳	車の席?	次•社内宴	 会や行事	Forms課題の	是出					
	10	マナ-	一: 名刺	交換		゚゚゚あり			Forms課題の	是出					
	11	マナー	-:会話 <i>σ</i>	フマナ	ーについて(基本	·言って	はいけない・	よく使うフレーズ	Forms課題の	是出					
	12	マナ-	——— −: 会記	 5のホ		ズな会	 話とは)		Forms課題の	是出					
	13	マナー	一: 中国	料理	 『のテーブルマ	ナー・涅	国席での振ん	 る舞い	Forms課題の	是出					
	14	-			- :ける時の礼儀·				Forms課題の	是出					
	15	確認													
	(1) (2)宿	 最終授 お題・し	業の中 ノポート	を数	とめテスト(筆記 回実施する。 90点以上)・A(	以上を	下記の観点			59点以下)とす	<b>-</b> る。				
					言語	情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法			レポー		(	0			0		60%				
			提出						0		20%				
			確認テ	スト		<u> </u>	0				20%				
履修上の注意	Н	出席が	10回に	満た	ない場合は、記	試験の	」 受験資格を	 与えない。	1		1				

科目名	7	トラ	ール	業	界	研究								
科目名(英)	Н	otel	indu	stry	rese	earch								
単位数		2	単位	<u>.</u>		時間数		30時間		担当者	-	-岡 浩己/:	木村 匡志	
実施年度		202	22年	度		実施時期	Ą	後期		担当者実務網	圣験			
対象学科・学年	7	テル	/・リ)	ゾー	卜科	 2年								
授業概要						究や考察を教 なとする。	発展さt	せ、2年間に	に渡る	ホテルに関す	する学びを発:	表の場を作り	、他者の前で披	
授業形式	講	義:			演	習: 0	実習	:	実打	<del></del> 支:	※ 主た		その他:△	
	言語情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他				I	目標				
		0				ホテル業界に	こ関す	る各自が設	定し	たテーマで研	究を進めて約	<b>詰論を立てる</b> 。	)	
学習目標		0				様々な授業	での学	びや気付き	も含	め、発表の場	らで説明するこ	ことができる。		
(到達目標)														
		なし												
テキスト・教材 参考図書														
	回数					授業	項目・1	内容				授業外学修	指示	
	1	授業	、イ	ベン	トの	概要説明					研究テーマを考	えておくこと		
	2	回数     授業項目・内容     授業外学修指示       1 授業、イベントの概要説明     研究テーマを考えておくこと												
	3	研究	テー	-マシ	央定						授業外でも研究	<ul><li>考察を進める。</li></ul>	٤	
	4	研究	. 考	察							授業外でも研究	· 考察を進める	٤	
			受業、イベントの概要説明	١٤										
											授業外でも研究	· 考察を進める	٤	
		研究									授業外でも研究	· 考察を進める	١٤	
授業計画	8	研究	. 考	察							授業外でも研究	· 考察を進める	٤	
		中間									授業外でも研究	· 考察を進める	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
		研究									授業外でも研究	·考察を進める	٢	
		研究									授業外でも研究	·考察を進める	٤	
		研究									授業外でも研究	·考察を進める	٤	
		発表			ナル						発表準備を行う	<u>-</u> د		
		発表									発表準備を行う	こと		
		発表			, ,,,						発表準備を行う	تح		
	(1)拐 以上	上出物 是出物 こを下	勿状》 記の	)観	点・割	表クオリティ 剥合で評価す 90点以上)・ <i>A</i>	る。				「以上)・D(59	)点以下)とす	る。	
							語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
評価方法			提出								0		40%	
		多	後表 2			ſ		0		0	0		40%	
			意	欲,	点						0		20%	
=4					<b></b> .	h 17						<u> </u>	<u> </u>	
履修上の注意	出	は席か	)\10[	미に	満た	ない場合は、	単位を	付与しなし	۱,					

科目名	ブ	ライ	ダ	ル	既論										
科目名(英)	Intro	oducti	ion t	o brid	dal										
単位数		1単位	立		時間	数	15時間	担当者		一岡 氵	告己				
実施年度	2	2022年	度		実施時	期	後期	担当者実務	経験	外資系ホテル	13年勤務				
対象学科·学年	ホテ	・ルリン	ブート	·科	2年										
授業概要					門を知る。			品や知識を深る	めホテル内のタ	婚礼の重要性	生を学ぶ。				
授業形式	講義:	: (	)	演 <sup>2</sup>	習: △	実習:	実	注技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 知信情報 技能	的 運動 能 技能		その他				目標	5						
	0 0	)			ブライダル	·(婚礼)の	定義・成り立	ちを知り説明で	する事ができる	)。					
学習目標	C	0			披露宴の	進行を理解	解しスタッフの	動きを説明す	る事ができる。	ı					
(到達目標)	0 0	<ul><li>○ ○ ブライダル商品について知識を深め説明する事ができる。</li></ul>													
テキスト・教材 参考図書	株式	大会社	マー	-ケテ	ィング・オフ	7ィス 宴:	会管理論 小	野田正美 著							
	回数				授美	業項目・内	]容			授業外学修	指示				
					門・婚礼の気			<del>***</del> - ** \							
					<u>・C(ギリスト</u> カテゴリーと		<u>対式・仏前式・人</u> 内容	削工)	教科書を読み、	わからない単語	を調べておくこと。				
	坡						・10 スタッフの動き①	)	進行の順番を覚	える。					
150 Alle = 1 -T-	抽	人場か 露宴の	ら乾 )流れ	不まて いにつ	: いて(進行に	こついて)ス	(タッフの動き②	)	進行の順番を覚	える。					
授業計画	4 - 5	ァーキ, ま 宣 a	入刀力	からキ	・ヤンドルサー ハア(准行)	ービスまで	スタッフの動き③	1	進行の順番を覚						
		条興か					· / / / / / / 到 C ()	'							
	l I				今後の展望	小テスト			小テスト対策をし						
	7  婚   7   <sub>(米</sub>	礼の打 料理・食	「合せ 欠物・:	tにつ 衣装・	いて  写真・装花・	進行•配席	₹∙印刷物∙演出	·その他)	教科書を読み、	わからない単語	を調べる。				
	8 7	ライダンポート	ル概は	論総さ	まとめ いて		₹∙印刷物∙演出	<b>.</b>	疑問点などに関	しては準備して	きてもらう。				
	(1)小ラ 以上を	テスト <sup>*</sup> 下記・	1回写 の観	実施で 点・書	する。(2)レ 別合で評価	する。	出(期限·内容 以上)·B(70点		点以上)・D(59	点以下)とす	ెనం.				
						言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法		/]	トテス	<b>ベト</b>		0	0				40%				
計ਘ力本		宿題	・レァ	ポート		0			0		60%				
履修上の注意	出席	まが6[	回に	満た	ない場合は	、評価Dと	<b>∵</b> する。								

										-				
科目名	ワー	イン学	!											
科目名(英)	Wine	learning												
単位数	1	1単位		時間数		15時間	担当者		三角 康	一郎				
実施年度	20	22年度		実施時期	Я	後期	担当者実務	経験 フレ	ンチレストラン	にて4年勤務				
対象学科・学年	ホテノ	レ・リゾー	-卜科	2年										
授業概要		レのレス を目指す		やバー等にる	おけるソム	ムリエの業務	を学び、その	基礎となるワイ	(ンについて	の幅広い知識の				
授業形式	講義:	0	演	習: △	実習:	美	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 知的 技能	運動 態度 技能 意欲					目標	Ę						
	0			ワインの基礎	楚的な知	識を説明でき	る。							
学習目標		0		適切なワイン	ノサービス	スができる。								
(到達目標)	O   ワインを通して各国の文化を関係付ける。													
テキスト・教材 参考図書	HBAバーテンダーズオフィシャルマニュアル													
	回数			授業	項目·内	容		;	授業外学修	指示				
	1 アル	レコール	領とこ	フインの歴史				授業内容を復習	しておくこと					
	2 ワイ	ンの分類	類、栽	战培方法、醸造	告学			授業内容を復習	しておくこと					
	3 21	パークリン	グワ	インの製法、	試飲			授業内容を復習	しておくこと					
授業計画	4 テイ	′スティン	グ方	法、ワインの	表現			授業内容を復習	しておくこと					
	5 白ワ	フインの類	製法、	試飲				授業内容を復習	しておくこと					
	6 赤ワ	フインの類	製法、	試飲				授業内容を復習	しておくこと					
				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	か概要			授業内容を復習	しておくこと					
				請強化ワインの				授業内容を復習	しておくこと					
	以上をヿ	下記の観	点:	出席状況を意 割合で評価す 90点以上)・/	る。		以上)·C(60,	点以上) • D (59	点以下)とす	·る。				
				言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法		レポー				0		0		80%				
計価力法		意欲	点					0		20%				
履修上の注意				う日は徒歩ま ない場合は、			利用して登校	すること。						

科目名	,	/ \`—·	テン	<b>゙</b> ダ	_									
科目名(英)	Е	Bartend	er											
単位数		2単	位		時間数		30時間	担当者		古賀 ブ	个介			
実施年度		2022	年度		実施時期		後期	担当者実務	経験 日系	ホテル料飲部	にて勤務経験			
対象学科·学年	7	トテル・	リゾー	-卜科	2年									
授業概要					:演及び実技に よるオリジナル						を行う。			
授業形式	講	義:	Δ	演 <sup>2</sup>	習: O	実習:	美		※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運		その他			<u>'</u>	目標	<u> </u>					
	0				飲料における	基本知	識を説明で	きる						
学習目標	0								な取り扱いを行	う				
(到達目標)		C	0		各自オリジナ	ルカクラ	テルの創作と	発表						
		HRAバーデンダーズオフィシャルマニュアル												
		HBAバーテンダーズオフィシャルマニュアル												
テキスト・教材 参考図書	F	HBAバーテンダーズオフィシャルマニュアル												
	回数				授業項	頁目•内:	<del></del>			授業外学修持				
	1	カクテ	ル学・	バー	業界総論∙講館	師による	カクテル作用	 战実演	授業内容を復習	しておくこと				
	2	酒類絲	念論・ノ	バーツ	ノールの取り扱	い方			授業内容を復習	しておくこと				
	3	ジン・ワ	ナオツ	力の相	既要とそのカク	テルに	ついて		授業内容を復習	しておくこと				
	4	ラム・ラ	テキー	-ラの:	概要とそのカク	ケテルに	ついて		授業内容を復習	しておくこと				
	5				ンデーの概要の			ハて	授業内容を復習	しておくこと				
	6				他の概要とその				授業内容を復習	しておくこと				
	7	カクテ							授業内容を復習	しておくこと				
授業計画	'				 び実技練習(ノ゙	 バースプ・	ーンと使用し	ステアの練習)	授業内容を復習	しておくこと				
					ひ実技練習(				授業内容を復習					
	<u> </u>				とび実技練習(				授業内容を復習	しておくこと				
					と ひ とび実技練習(				カクテルコンペテ	イションの準備を	上進めること			
					とび実技練習(				カクテルコンペテ	イションの準備を	を進めること			
					実技練習(カク				カクテルコンペテ	イションの準備を	を進めること			
					ペティション予			四〇小木日/	カクテルコンペテ	イションの準備を	を進めること			
					·・・・・・・・·····························				カクテルコンペテ	イションの準備を	を進めること			
	以」	Lを下訂	己の観	点:	Fストを実施す 引合で評価する 90点以上)・A	5.								
					言語	語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
評価方法			を認テ			0	0				20%			
HI IMPS SEA		カク	テル	レシヒ	-		0		0		40%			
	7	カクテル	/コン/	ペティ	ション			0	0		40%			
		h <i>カニ</i> ッ	Λ=+·	合んせく	テう日は徒歩 3	±+=1+1		  太利田  ア癸	 					
履修上の注意					Tプロは促歩す ない場合は、			で利用して登	TX y ること。					

科目名	-	サー	-ビ	ス介	 助									
科目名(英)	S	Servic	e assi	istance	;									
単位数		2	単位		時間数	数		30時間		担当者		玉置っ	5理子	
実施年度		202	22年度	Ę	実施時	期		後期		担当者実務網	圣験			
対象学科・学年	7	トテル	<b>ノ・リ</b> ゾ	<b>一</b> ト科	2年				_					
授業概要	損	妾遇 <i>0</i> 自分 <i>0</i>	の場面 の役割	で全て を常に	の人が安心	いして暮 発的に	事らし	ていける・	サー	·ビスが必要 <sup>-</sup>	である。この技	受業では、自	などあらゆる接客・ 分のできることや ペートが提供できる	
授業形式	講	義:	Δ	演 <sup>:</sup>	習: 0	実	習:		実打	支:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法:○	その他: △	
	言語 情報	知的 技能	運動 態技能 意	度 その他		1		<u>'</u>		目標				
	0											香の心身の4	犬況を説明できる。	
学習目標 (到達目標)			0							ートできるよ		•		
(到在日本/			0								きるようになる		tできるようになる。	
		0												
テキスト・教材		○ 聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。 なし												
参考図書	7,	₹L												
	回数				授美	<b>業項目</b>	・内容	!				授業外学修	指示	
	1	超高	齢社:	会の日	本の現状						本日の授業内容	を復習しておっ	(こと	
	2	肢体	不自	由者	一肢体不自	由者と	<b>:</b> は				本日の授業内容	を復習してお	くこと	
	3	肢体	不自	由者	- 車椅子介	助の排	操作演	習			本日の授業内容	を復習してお	くこと	
	4	肢体	不自	由者	- 車椅子介	助の排	操作演	習			本日の授業内容	Fを復習してお <sup>、</sup>	くこと	
	5	肢体	不自	由者・	- 車椅子介	助の排	操作演	習			本日の授業内容	序を復習してお <sup>っ</sup>	くこと	
	6	肢体	不自	由者・	- 車椅子介	助の調	実技試	験			本日の授業内容	序を復習してお <sup>っ</sup>	くこと	
-   -   -     -	7	高齢	者介	助一品	 高齢者体験						本日の授業内容	Fを復習してお <sup>く</sup>	くこと	
授業計画	8	高齢	者介	助一品	 高齢者の現	状					本日の授業内容	Fを復習してお <sup>っ</sup>	くこと	
	9	高齢	者介	助 一	 高齢者の心	身の変	变化				本日の授業内容	Fを復習してお <sup>っ</sup>	くこと	
	10	視覚	堕がし	い者 -	 −視覚障が	い者体	<b>本験(</b> E	目隠し歩ん	行)		本日の授業内容	序を復習してお <sup>っ</sup>	(こと	
	11	視覚	堕がし	い者 -	 −視覚障が	い者が	<b>】</b> 助演	習			本日の授業内容	序を復習してお <sup>っ</sup>	(こと	
	12	視覚	障がし	い者 -	 −視覚障が	い者 <i>0</i>	D現状				本日の授業内容	Fを復習してお <sup>。</sup>	(こと	
	13	聴覚	堕がし	い者 -	 −聴覚障が	い者と	 :は				本日の授業内容	Fを復習してお <sup>、</sup>	くこと	
	14	聴覚	堕がし	い者 -	−聴覚障が	い者が	 }助演	習			本日の授業内容	Fを復習してお <sup>、</sup>	くこと	
	15	総ま	<b>とめ・</b>	レポー	 ト課題						課題を提出する	ت ح		
	以上	上を下	記の	観点∙割	割合で評価 <sup>·</sup>	する。				夏プリントの扱 以上)・C(60	□ 是出状況。 点以上)• D(59	9点以下)と	する	
						言語情	報	知的技能	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
評価方法		授美		実技詞	(験					0	0		50%	
			提出	状況		0		0					50%	
							_							
履修上の注意	Н	出席が	<b>於10回</b>	に満た	ない場合に	は、単位	立を与	えない。			ı			

	-	T =T													
科目名	=	手話													
科目名(英)	S	ign Lang	guage												
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		平嶋	光希			
実施年度		2022年	F度		実施時期	玥	後期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	7	テル・リ	ゾー	卜科	2年										
授業概要	礼	見覚的に	ものる	をとり	、手話技能校 らえる工夫や つける。(指)	様々な手	<b>手段を使っ</b> つ	て聴		云え合うことを	学ぶ。				
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: 〇	実習:		実	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他			•		目標						
	0				視覚障がい	者の基礎	楚知識を学	び、	説明すること	ができる。					
学習目標	0				視覚障がい	者の生活	舌を理解し、	、説	明することが	できる。					
(到達目標)		0			手話を使い、										
		0			手話技能検	定5級に	合格するこ		ができる。						
# !!		プリント													
テキスト・教材 参考図書	7	プリント													
	回数				授業	項目·内	  容				授業外学修	 指示			
	1	1,2,3	講座	伝	え合う。名前	の紹介(	[1)			授業内容を復習	しておくこと				
	2	1,2,3	講座	伝	え合う。名前	の紹介(	(2)			授業内容を復習	しておくこと				
	3	1,2,3	講座	伝	え合う。名前	の紹介(	(3)			授業内容を復習	しておくこと				
	4	4講座	数字	や眼	<b>計間の表現</b>					授業内容を復習	しておくこと				
	5	5講座	好き	、嫌	い、得意、苦	手の表現	 見			授業内容を復習	しておくこと				
	6	6講座	行き	たい	場所の表現					授業内容を復習	しておくこと				
1m) 4Hz = 1	7	7講座	病気	や、	怪我で困った	-時の表	:現			授業内容を復習	しておくこと				
授業計画	8	8講座	お天	気と	、乗り物の表	現				授業内容を復習	しておくこと				
	9	9講座	買い	物と	お金の表現					授業内容を復習	しておくこと				
	10	手話検:	定テュ	トスト	> 第1章					授業内容を復習	しておくこと				
	11	手話検:	定テュ	キス	〉第2章					授業内容を復習	しておくこと				
	12	手話検:	定テュ	キス	> 第3章					授業内容を復習	しておくこと				
	13	手話検:	定テュ	トスト	ト まとめ					授業内容を復習	しておくこと				
	14	自己紹:	介(実	(技)						授業内容を復習	しておくこと				
	15	手話技能	能検え	定(5	i級)対策					授業内容を復習	しておくこと				
	以上	を下記	の観り	点:碧	副合で評価す	る。				する。(3)検定 60点以上)・I		·とする)			
					言	語情報	知的技情	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法			トテス			0	0					40%			
			<sup>8</sup> −ト‡				0			_		40%			
		検	定結	果						0		20%			
   履修上の注意	Щ	H.度が10	·	滞た	 :ない場合は、	単位を	与えない					l			
限停工ツ江忌	"	1 W 10, 10	'ШI ~.	/III] / C	.′ひい '勿口 は、	・十四で	ナルゆい。								

	_														
科目名	E	Englis	sh (	Cor	versatio	n II	В								
科目名(英)	Е	nglish (	Conve	rsati	on II B										
単位数		2単	·位		時間数		301	時間	担当者			•	Andrew Highcock, aurel Pegler, Scott Newby		
実施年度		2022	年度		実施時期	1	前	期	担当者実務	経験					
対象学科·学年	7	トテル・	リゾー	卜科	2年										
授業概要	2	. Give s	studer	nts m	English profic nore confidenced ed English ski	ce in		nglish							
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実習	<b>■</b> :	実	技:	;	※ 主た	-る方法:O	その他:△		
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他				·	目標	# *					
	0				Raise studer	nts' E	nglish p	roficienc	y.						
学習目標	0	0			Give student	ts mo	re confi	dence in	using English	h.					
(到達目標)	0				Workplace re	elated	l English	skills.							
		Speak Out Elementary Flexi Course Book2													
テキスト・教材 参考図書	Speak Out Elementary Flexi Course Book2  回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数														
	1	Summe	er Va	catio	n					none					
	2	9.3 So	rry I'n	n Lat	е					Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	3	9.4 Air	port							Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	4	9.5 Lo	okbac	k + t	eacher's less	on				Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	5	10.1 Li	fe's a	Lott	erv					Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	6	10.1 E								Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	_				mething					Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
授業計画	-									Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	8	10.4 W								Preview	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	9				teacher's les	son							eview previous lesson		
	10	11.1 I I	Don't	Feel	Well								· 		
	11	11.2 O	ne Th	ning A	At A Time								eview previous lesson		
	12	11.3 H	elp										eview previous lesson		
	13	11.4 Fa	at or	Suga	r?					Previev	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	14	Review	v and	Prac	tice for Spea	king <sup>-</sup>	Test			Previev	w lesson i	materials and r	eview previous lesson		
	15	Speaki	ng Te	st						Review	previous	lesson materia	al		
					(1) Test – 50 is: S (90 and										
						語情	報知	的技能	運動技能	態度	・意欲	その他	評価割合		
評価方法	7	E期試験	央 Ser Exar		er End	0		0		(	0		50%		
	,	小テスト			Tasks	0		0		(	0		50%		
履修上の注意	S	tudent	s will	not r	eceive a grad	le if t	hey mis	s more t	han 5 classes	S.					

科目名	į	英訂	吾核	立	[(1	「OEIC)文	寸笋	₹ⅡB					
科目名(英)	Т	OEI	СТе	st S	trate	gies II B							
単位数		4	I単位	Ī.		時間数		60時間		担当者		石志	正雄
実施年度		20	22年	度		実施時期		後期		担当者実務	経験	外資系翻訳企	業にて勤務
対象学科・学年	7	マテノ	レ・リ	ゾー	ト科2	 2年							
授業概要	幸业	吸り ひ要と	里能: とされ	力を しる <b>5</b>	念頭を語え	に業務を行う りに見合った:	ことだ	が求められて つけることが	いる 重要	。限られた時 である。この	間の 授業で	的な分野で通用する 中で正確、かつ迅速 では、英語運用能力な 通して英語の4技能	に対応し、社会で を測る代表的な資
授業形式	講	義:	C	)	演	習: △	実	習:	実	支:		※ 主たる方法: 〇	その他: △
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標	Ę		
	0	0				社会性のある •Internationa で、大まかに •会議の議事	l He 理解	rald Tribune」 『できる。	J, 「F	inancial Time	es」等	読む) :一般的な国際英字新	<b>所聞の記事を読ん</b>
学習目標 (到達目標)	0	0					1-;	ス番組で、最	初に	アナウンサー	- が言	聞く) う主なニュース項目 引いて理解できる。	を理解できる。
	0	0				社会性のある ・今後取引先 ターを書くこと ・FAX、E-mai	とな :がで	りそうな相手 できる。	に対	して、自社製		紹介・売込みのための	DEメールやレ
テキスト・教材 参考図書	Т	OEI	こテス	くト完	全攻	な略リーディン	グ٧	ol1、2、Word	Powe	er4500, Liste	ening	Box for TOEIC他	
	回数					授業項	頁目·	·内容				授業外学修	指示
	1	導力	、夏	休み	<b>y明</b> (	ナ復習テスト、	解答	5&解説					
	2	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	・リスニング	•		単語-	の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	تك.
	3	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	<b>⑤、リスニン</b> グ				の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	
	4	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	<b>5、リスニン</b> グ	•		単語:	の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	こと。
	5	TOE	IC対	策	Part	:5、Part6強化	問題	・リスニング	,			の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	
	6	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	<b>気、リスニング</b>	•		前回(	の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	7	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	<b>夏、リスニン</b> グ			前回(	の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	8	TOE	IC対	策	Part	.5、Part6強化	問題	<b>気、リスニング</b>	,		前回(	の復習および予習を行ってテストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	9	TOE	IC対	策	Part	5、Part6強化	問題	 〔、リスニング	,		前回(	の復習および予習を行ってテストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	10	TOE	IC対	策	Part	 :5、Part6強化	問題				前回(	クストに同けた子音を行って の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	11	TOE	IC対	策	Part	 :5、Part6強化	問題		•		前回(	<u>7 ストに同けたするを行うで</u> の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	12	TOE	IC対	策	Part	 :5、Part6強化	問題	 🤁、リスニング	,		前回(	の復習および予習を行って	て授業に臨むこと。また
	13	TOE	IC対	策	Part	 :5、Part6強化	問題	 「、リスニング	•		前回(	テストに向けた予習を行う の復習および予習を行って ニストに向けたる翌を行って	て授業に臨むこと。また
						.5、Part6強化					前回(	テストに向けた予習を行うの復習および予習を行って	て授業に臨むこと。また
授業計画						<b>&amp;</b> 解説					前回(	テストに向けた予習を行う の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
	16	TOE	IC文	策	Mult	tiple Passege	攻略	、実践模試、	リス	ニング	前回(	7.ストに向けたアョを行うで の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
						iple Passege					前回(	の復習および予習を行って	て授業に臨むこと。また
						iple Passege					前回(	テストに向けた予習を行う の復習および予習を行って ニストに向けた予習を行う	て授業に臨むこと。また
						iple Passege					前回(	テストに向けた予習を行う の復習および予習を行って ニュリに向けた スツェグラ	「授業に臨むこと。また
						iple Passege						テストに向けた予習を行う の復習および予習を行って テストに向けた予習を行う	

## 麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

_												
	21 TOEIC対策 Multiple Pass	sege攻略、実	践模試、リス	ニング	前回の復習およ単語テストに向け		授業に臨むこと。また					
	22 TOEIC対策 Multiple Pass	sege攻略、実	践模試、リス	ニング	前回の復習およ単語テストに向け		授業に臨むこと。また					
	23 TOEIC対策 Multiple Pass	sege攻略、実	践模試、リス・	ニング	前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。また					
	24 Business Writing、語彙強·	単語テストに向けた予習を行うこと。 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また 単語テストに向けた予習を行うこと。										
	25   Business Writing、語彙強	化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また									
	26   Business Writing、語彙強	上、Dictation	単語テストに向けた予習を行うこと。 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また 単語テストに向けた予習を行うこと。									
	27 Business Writing、語彙強				前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。また					
	28 Business Writing、語彙強					び予習を行って	授業に臨むこと。また					
	29 Business Writing、語彙強	単語テストに向けた予習を行うこと。 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また 単語テストに向けた予習を行うこと。										
	30 定期試験対策 学期総括	単語アストに向じ	7たア省を行うこ	.∠。								
	1)定期試験(筆記)を実施する。 2)TOEICを学期末に実施する。(12月) 評価方法は800点取得で100%、730点取得で95%、700点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 或績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
==		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
評価方法	定期試験	0	0				60%					
	TOEIC	0	0				30%					
	単語テスト	0	0				10%					

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

履修上の注意

単位数	科目名	英語検定(2級)対策ⅡB																
大きな	科目名(英)	EIK	EN Te	st/T	OEIC	Test Strate	gies	IΙΒ										
	単位数		4単位	立		時間数		60時間		担当者	石志	正雄						
投業概要	実施年度	:	2022年	度		実施時期	Ą	後期	担	当者実務経	外資系翻訳企	<b>業にて勤務</b>						
投業概要	対象学科・学年	ホラ	・ル・リ	ゾー	·卜科2	!年												
日標   日標   日標   日標   日標   日標   日標   日標	授業概要	の う ら 文	英語にて 化やり	多く角 歴史	触れ、	それらを理解	解して	いく必要があ	る。 こ σ.	)授業では、	学校や仕事、趣味とい	った身近なもの	か					
学習目標	授業形式	講義	: (	)	演	習: ム	実	<b>∃</b> :	実技:		※ 主たる方法:O	その他:△						
***   **   **   **   **   **   **   *		言語 知情報 技	I的 運動 能 技能	態度 意欲	その他			1.		目標								
学習目標 (到達目標)         ができる。(書く)           ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		0	0						ついて、	情報や考え	たなどを理解したり、概	要や要点をとら	え					
○ ○	学習目標	0	)															
□数	(到達目標)	0 0	)				物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要											
デキスト・教材 参考図書         英検過去問題集           回数 1 5 5 6 6 5 7 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		0 0	)			また、説明や	。 えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる た、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることがで											
一						<u>さる。∖雨中リ/</u>												
1 オリエンテーション、ディクテーション、音読、 英検リーディング(短文の語句空所補充)       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         2 英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         4 英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         5 英検ライティング、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         6 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答を解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		英植	英検過去問題集															
「英検リーディング(短文の語句空所補充)       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         3 英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         4 英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         5 英検ライティング、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         6 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答 & 解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		回数	授業項目・内容 授業外学修指示															
2 英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         3 英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         5 英検ライティング、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         6 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答を解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         第 回の復習および予習を行って授業に臨むこと       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		1 女	リエンテ 検リーラ	ーショディング	ョン、デ グ(短:	ディクテーション、 文の語句空所補	音読、 充)											
3 英検リーディング(長文の問音可至所補元)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         4 英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         5 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答 & 解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         第四の復習および予習を行って授業に臨むこと       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと								補充)、リスニ	ング	前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
4 英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         5 英検ライティング、リスニング       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         6 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答 & 解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		3 英	検リー	ーディ	ノング	(長文の語句	空所	補充)、リスニ	ング	前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
5 英検ブイブイング、リベーング       6 英検模擬試験 問題1 筆記       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         7 英検模擬試験 問題1 リスニング 解答 & 解説       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと         8 英検本試験解説 大問1       前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		4 英	検リー	ーディ	ノング	(長文の内容	一致	選択)、リスニ	ング	前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
5		5 英	検ライ	イティ	ング	、リスニング				前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
7 央快保援試験 「向起」 リスーング 解合を解説 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		6 英	検模	疑試	験『	月題1 筆記				前	回の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと						
8 天快平武駅胜記 人口! 前回の復習むとび予習を行って授業に陥むこと		7 英	検模	疑試	験『	 引題1 リスニ	ング	解答&解説		前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
9 英検本試験解説 大問2 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		8 英	検本語	試験:	解説	大問1				前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
		9 英	検本語	試験:	解説	大問2				前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
10 英検本試験解説 大問3 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		10 英	検本語	試験:	解説	大問3				前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
11 英検本試験解説 モデルライティング練習 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		11 英	検本語	式験:	解説	モデルライ <del>・</del>	ティン	 グ練習		前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
12 英検2級本試験結果分析フィードバック、ライティング10問、 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと 英検2級攻略法						う析フィードバッ	ク、ライ	イティング10問、		前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
13 英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		H- +				 短文の語句:	空所	 浦充)、リスニン	 ノグ	前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
14 英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		H.								前	回の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと						
授業計画 15 英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	授業計画	<del>-  </del>								前	回の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと						
16 英検ライティング、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		<del>-  </del>								前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
17 英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題) 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		<del></del>							3.去問是	<b></b> 前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
18 英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題) 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		<del></del>								24	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
19 英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		H-									回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
20 英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		H-								前	回の復習および予習を行って	て授業に臨むこと						
20 英族リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		H-								盐	回の復翌お上び予翌を行っ <sup>*</sup>	イゼ 光 一 吹 ナンニ し						
21 人はノーバース (強人が明り王)/ [間が/ リハーン)		7   🞞	エル中・リー		<i></i>	( †□ У (/ ) ≡ ∸ ′ □	IZED	・袖分) リスー	ング	Hi	日の後日のない。」日をリン	(技术に陥むこと						

## 麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	23 英検リーディング(長文の	語句空所補死	ー た)、リスニンク	ブ	前回の復習およる	ゾ予習を行って持	受業に臨むこと						
	24 英検リーディング(長文の	)内容一致選扎	ー 沢)、リスニンク	ブ	前回の復習および	び予習を行って持	受業に臨むこと						
	25 英検リーディング(長文の	)内容一致選拮	ー 沢)、リスニンク	ブ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと								
	26 英検ライティング、リスニン	 ング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと										
	27 英検模擬試験 問題2 釒	 筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと										
	28 英検模擬試験 問題2 リ	 Jスニング 解	前回の復習および	ゾ予習を行って打	受業に臨むこと								
	29 英検模擬試験 問題2 角	 解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと								
	30 後期まとめおよび期末試験対策 前回の復習および予習を行って授業に臨むこ												
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
<b>新</b> 伍士注		言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合						
評価方法	定期試験	0	0				60%						
	小テスト	0	0				40%						
履修上の注意	   出席が20回に満たない場合	今は、定期試験	険の受験資格	を与えない。									

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡB																	
科目名(英)	Е	IKEN	Test/T	ΓΟΕΙ	C Test Strate	gies	IΙΒ											
単位数		4 <u>È</u>	単位		時間数		60時間		担当者		石志 〕	正雄						
実施年度		202	2年度		実施時期	]	後期		担当者実務網	圣験	外資系翻訳企	業にて勤務						
対象学科・学年	7	トテル	・リゾー	-卜科:	 2年			<u> </u>										
授業概要	ع	は大	変重要	であ		では	、社会で必要				れた。 ないでは、 ないでは、 ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は							
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実	習:	実	技:		※ 主たる方法: 〇	その他:△						
	言語 情報		運動 態度 技能 意欲	その他					目標	Į								
	0	0			説明、評論、			つい	て、情報や君	きえな	どを理解したり、概要	要や要点をとらえ						
学習目標																		
(到達目標)	0	0			電話や対面の会話などを聞いて,情報や考えなどを理解したり,概要や要点をとらえるができる。(聞く) 与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことがで													
	0	0				えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる た、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し,概要や要点をとらえることができる。												
						<u>話す)</u>												
テキスト・教材 参考図書	萝	英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集																
	回数																	
	1	=27																
	2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
	3	英検	対策	大問1	,2(語彙、短ス	ての	語句空所補充	5)、!	Jスニング		復習を行って授業に臨む							
	4	英検	対策	大問3	(長文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング			復習を行って授業に臨む	-						
	5	英検	対策	大問	(長文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング	ブ 		復習を行って授業に臨む							
	6	英検	対策	大問3	(長文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング	<u>ゲ</u>		復習を行って授業に臨む							
	7	英検	対策	大問4	(長文)、リス	ニン	グ				復習を行って授業に臨む							
	8	英検	対策	大問4	(長文)、リス	ニン	グ				復習を行って授業に臨む							
	9	英検	対策	大問4	(長文)、リス	ニン	グ				復習を行って授業に臨む							
	10	英検	対策	大問:	(ライティング	`),!	Jスニング				復習を行って授業に臨む							
	11	英検:	対策	大問:	(ライティング	`) , !	Jスニング				復習を行って授業に臨む							
	12	英検	模擬試	験「	問題1 筆記						復習を行って授業に臨む							
	13	英検	模擬試	験「	問題1 リスニ	ング	解答&解説			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
	14	英検	本試験	解説	大問1					予習、	復習を行って授業に臨む	یکی						
授業計画	15	英検	本試験	解説	大問2					予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
	16	英検	本試験	解説	大問2					予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
	17	英検	 本試験	解説	大問3					予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
	18	英検	 本試験	解説	モデルライ	ティン				予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
	19	TOEI	 Cテスト	概要	説明 TOEIC	Pa	rt5			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
							————— 語句空所補充	5),!	Jスニング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
							語句空所補充			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						
							所補充)、リスニ			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。						

## 麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	23 英検対策 大問3(長文の	)語句空所補3	・ た)、リスニン ?	ブ	予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.						
	24 英検対策 大問4(長文)	、リスニング			予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	<u>.</u> ک						
	25 英検対策 大問4(長文)	、リスニング			予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.						
	26 英検対策 大問5(ライテ	ィング)、リスニ		予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.							
	27 英検対策 大問5(ライテ	ィング)、リスニ		予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.							
	28 英検対策 大問5(ライテ	 ィング)、リスニ		予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.							
	29 英検対策 大問5(ライテ	 ィング)、リスニ	ニング		予習、復習を行っ	て授業に臨むこ	٤.						
	30 期末テスト前復習 予習、復習を行って授業に臨むこと。												
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
新 <i>压十</i>		言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合						
評価方法	定期試験	0	0				60%						
	小テスト	0	0				40%						
							-						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合	合は、定期試験	険の受験資格	を与えない。									

科目名	社会教養ⅡB														
科目名(英)	s	ocial ed	ucati	ion II	В										
単位数		2単化	立		時間数		30時間		担当者	<b>1</b>	村 匡志/	小形 享平			
実施年度		2022	年		実施時期	ı	後期	П	担当者実務	経験					
対象学科 - 学年	7	テル・リ	ゾー	卜科	2年	•									
授業概要					動に必要な面養を深めるた			作成	、企業研究な	などを行う。					
授業形式	講	義:		演	習: 0	実習:		実技	支:	※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度 意欲	その他		目標									
	0	0			面接練習を追	通して、	自身の考え	を人	、前でしっかり	りと話せるよう	になる。				
学習目標	0	0			社会常識や	社会人	として必要な	な情	報を学び、卒	業後に繋げる	られるようにす	<sup>-</sup> る。			
(到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	京	就職活動ガイドブック													
	回数 授業項目・内容 授業外学(														
	1	後期の	予定	と目	標設定					授業内容を復習	しておくこと				
	2	就職支	 援							授業内容を復習	しておくこと				
	3	就職支	接				授業内容を復習	しておくこと							
		就職支								授業内容を復習	しておくこと				
				നട	NS利用につい	17				授業内容を復習	しておくこと				
		新入社				授業内容を復習	しておくこと								
		新入社	しておくこと												
授業計画	8	税金に	つい	7		授業内容を復習	しておくこと								
	9	社会保	険の	基礎	 知識	授業内容を復習	しておくこと								
	10	社会人	マナ・	一学	習(テーブルマ	授業内容を復習しておくこと									
	11	社会人	マナ・	一学	習(テーブルマ	7ナー)	授業内容を復習しておくこと								
	12	敬語、下	マナー	- の復			授業内容を復習しておくこと								
		ライフブ					授業内容を復習しておくこと								
	14	社会人	研修			授業内容を復習しておくこと									
	15	2年間σ	まと	:め( <u>=</u>	 学生と社会人(	授業内容を復習しておくこと									
	15 2年間のまとめ(学生と社会人の違い) 授業内容を復習しておくこと (1)課題提出状況(2)出席状況を意欲点として評価する 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。														
					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法			提出:							0		50%			
		Ţ	意欲.	点						0		50%			
履修上の注意	出	出席が10	)回に	満た	ない場合は、	単位を	ー 付与しない	٠ <sub>0</sub>		l		<u>I</u>			

科目名	7	茶道	<u> </u>														
科目名(英)	Т	ea Ce	eremon	У													
単位数		2 i	単位		時間数		30時間		担当者		真武 美	知子					
実施年度		202	2年度		実施時期	Я	後期		担当者実務	経験 茶道歴50年							
対象学科・学年	7	テル	・リゾー	-卜科	2年												
授業概要	角	なし 'ま	さもてな	L' σ.		ける。	茶道の一連の	の流れ	れの中で、目	配り・気配り・		文化の良さを理は来る人になり、					
授業形式	講	義:		演	習: 0	実習	i :	実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		目標											
	0				茶道具を覚	える。	茶菓子の種類	類を与	学ぶ。								
学習目標 (到達目標)			0			室での所作習得する。襖の開閉、茶室への入り方、畳の歩き方、座り方を習得する。 点前。茶筅でお茶を点てる、お茶をいただく、お茶を運ぶ、を実習、習得する。											
			0														
			0						:杓の拭き万	・茶筅通し・茶	・中の扱い) i	当得する。					
テキスト・教材		○   炉による薄茶点前を習得する。															
参考図書	i	<b></b>	称プリ	ント													
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示															
	1		紹介・シラ 屋の説明		胡・和室での基	本動作	実習、お稽古も	マット・ネ	Ř道具·茶菓	茶道具を覚える 正座(畳に座るご							
	2					の点	 て方・飲み方	 ī・お፤	 菓子	抹茶の量、点で	方を覚える						
	3	点出	 L 割和	當古(	服紗さばき・	茶入.	茶杓の拭き	方)		服紗のたたみ方割稽古復習(服		茶杓の拭き方)					
	4				() 割稽古(				き方)	割稽古復習(服約							
			前(お盆					) J24 C	- /3/		沙さばき・茶入、	茶杓の拭き方・茶巾					
	6				ン・接拶の仕			の扱い・茶碗の打 割稽古復習(服名		茶筅通し) 茶杓の拭き方・茶巾							
	_						の扱い・茶碗の打割り稽古復習	式き方・茶筅通(	L)								
授業計画	7	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)   割り借口復音															
		中间美技試験															
		炉(薄茶点前) 風炉と炉との違い説明(季節・道具)															
								<del></del>	<u> </u>	割り稽古の復習	スムーズに出	来るようにする					
					字の作法・お			<b></b>	£								
					点前の順序・			点前の順序・流れを覚える 									
					(総仕上げ)			点前の順序・流れを覚える 									
			試験:i		炉(薄茶点		2名ずつ			実演練習をしておくこと 実演練習をしておくこと							
	15	実技	試験:i	平価	炉(薄茶点	前)	2名ずつ			大魚林目でして	3,55						
	(1)実技試験を実施する。(2)中間実技試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。																
					言	語情報	報 知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
評価方法			実技詞	t験					0	0		60%					
H		中	間実技	支試縣	È				0	0		40%					
										<u>│</u> -ト着用、髪を束ね	る。						
履修上の注意					〜がある物を着用 ネ・後片付けをす		畳を持参する。≌	当番を決	夬める(お菓子・	・準備・後片付け)							

科目名	ホテル中国語														
科目名(英)	Н	lotel Cl	ninese	Lea	rning										
単位数		2単	.位		時間数		30時間		担当者		陳金剛	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
実施年度		2022	年度		実施時期	1	後期		担当者実務	圣験					
対象学科・学年	7	マテル・	リゾー	卜科	 2年										
授業概要	4	中国語の	の基礎	的な	単語や文法を	を学習す	するとともに	-、ホ	テル現場での	の接客に使う	フレーズを身に	こつける。			
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 〇	実習:		実	<del></del> 支:	※ 主 <i>t</i> :		その他:△			
	言語情報	知的 運		その他		目標									
	0	0			単語や常用	表現フレ	ノーズを使り	い、	自己紹介がて	きるようにな	る。				
学習目標	0	0			簡単な文法を	を使って	ホテルで必	<b>沙要</b> δ	なフレーズが	言えるように	なる。				
(到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	7	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」、配布プリント													
	回数 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1	中国は	tどん:	な国	・中国語の仕	組み				授業内容を復習	しておくこと				
	2	母音								発音の練習をし	ておくこと				
	3	鼻音と	挨拶	言葉						発音の練習をし	ておくこと				
	4	声調と	鼻音	の復 <sup>:</sup>	 習					発音の練習をし	ておくこと				
	5	子音半	<u>-</u> 分と	母音(	の組み合せ					発音の練習をし	ておくこと				
	6	子音半	<u>-</u> 分と	母音(	の組み合せ	発音の練習をし	ておくこと								
140 440 = 1 <del></del>	7	発音σ	総復	習と	テスト	発音の練習をし	ておくこと								
授業計画	8	数字、	年齢、	各自	の名前の言	名前などを正確	に言えるようにし	ておくこと							
	9	日付け	の言	い方		授業内容を復習しておくこと									
	10	お金の	言い	方		授業内容を復習しておくこと									
	11	電話、	携帯	番号。	上部屋番号		受業内容を復習しておくこと								
	12	自己紹	介用	の単	語					授業内容を復習しておくこと					
	13	自己紹	介文	作り						授業内容を復習しておくこと					
	14	発表と	ホテノ	レ用詞	吾					習った言葉の会話練習をしておくこと					
	15	二人組	でホ	テル	用語を使い会	話の演	習(テスト)			習った言葉の会	話練習をしてお	くこと			
	(1)作文(自己紹介文)を作成する。 (2)ホテル会話テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。														
						語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法			己紹			0				0		20%			
		ホテ	ル会詞	古テス	<		0			0 80%					
履修上の注意	占	出席が1	0回に	満た	ない場合は、	単位を	与えない。					•			